

臥牛サロンご案内

- 複数の曲に共通するテーマを解説し、各曲の謡と仕舞の見どころをたっぷりお楽しみ頂きます。
- サロンの開催は、原則、奇数月（隔月）の下旬となります。
- 時間：18:30- 19:45前後
- 参加費：椅子指定席 3,000円、座布団自由席2,500円
- 次回：2020年3月16日（月）18:30～（夜桜能の演目から）

出演者



田崎 甫
はじめ

シテ方宝生流職分
1988年 神奈川県生まれ、
叔父の宝生流能楽師 田崎
隆三に師事。2011年東京藝
術大学音楽学部邦楽科卒業、
20代宗家宝生和英の内弟子。
同年「金札」で初シテ。
2018年独立。九段「幸宝
会」主宰。2019年4月東京
藝術大学音楽学部教育研究
助手を拝任。



葛野 りさ
かどの

シテ方宝生流職分
平成元年生、富山県富
山市出身。20代宗家宝
生和英に師事。平成23
年東京藝術大学音楽学
部邦楽科卒業。平成24
年「清経」ツレにて初
舞台を踏み、平成29年
「田村」で初シテ。
2020年より川村学園女
子大学非常勤講師。

二〇二〇年一月二十〇日(月)

臥牛サロン 第十六回

冬の能

「雪の或る夜」

プロデューサー

田崎 甫

於 臥牛敷舞台

富士宮市粟倉南町一三二一

舞台当主 高橋千洋

(富士宮市中央町在住)

(宝生流能楽師)

【番組】

一 ござ挨拶

二 仕舞 春日龍神 (かすがりゆうじん) シテ 葛野りさ

三 独吟 薪の段 (たぎぎのだん) シテ 田崎甫

四 仕舞 葛城クセ (かづらき) シテ 田崎甫

五 仕舞 葛城キリ (かづらき) シテ 田崎甫

六 仕舞 車僧 (くるまぞう) シテ 田崎甫

夜桜能 貸切バス — 4月1日(水) 富士宮発着 —

- 出発：臥牛敷舞台13:30頃、富士宮市役所14:00頃
- 帰着：出発と同じ場所（解散は深夜になります）
- 分担金：SS席,バス往復,パンフレット,イヤホン,弁当,3/16サロン参加費を
全て含む合計 30,000円、(SS席とバス往復のみ 24,000円)
(詳細はチラシにて)

お申込・問合せは下記のLINE公式アカウント又は☎にて



「臥牛サロンご案内」を開設しました。
右のQRコードで“友だち追加”をお願いします。



臥牛サロン・夜桜能 お問い合わせ

☎ 0545-38-9939 (たぎぎ)

📠 090-2757-0620

一 『春日龍神』

(続き) 『薪の段』

1 八大龍王は。 八つの冠を傾け。
2 所は春日野の月乃三笠の雲に上り。
3 地に下りて飛ぶ火の野守も出でて見よや。
4 摩耶の誕生鷲峯の説法雙林乃入滅悉く終り
5 てこれまでなりや。
6 明恵上人さて入唐は。 とまるべし。
7 渡天は如何に。 渡るまじ。
8 偕佛蹟は。 尋ぬまじや。
9 尋ねても尋ねても此上あらしの雲にのりて。
10 竜女は南方に飛び去り行けば。
11 龍神は猿澤の池の青波蹴立てけたててその
12 丈千尋の大蛇となつて。
13 天に群がり地に蟠りて池水をかへして。
14 失せにけり。

二 『薪の段』

15 捨人のための鉢の木。
16 切るとてもよしや惜しからじと。
17 雪打ち拂ひて見れば面白やいかにせん。
18 先づ冬木より咲き初むる。

三 『葛城クセ』

19 かづらきや。 木の間に光る稲妻は。
20 山伏の打つ。 火かところ見れ。
21 げにや世の中は。 電光朝露石乃火の。

(続き) 『葛城クセ』

22 光の間ぞと思へただ。 我が身の歎をも取り
23 添えて思ひ真柴を焚かうよ。
24 捨人の。 苔の衣の色深く。
25 法に心は墨染の。
26 袖もさながら白妙の雪にや色をそみかくだ乃。
27 篠懸もさえまさる標を集め柴を焚き寒風を防
28 ぐ葛城の。 山伏の名にしおふ。
29 片敷く袖の枕して。
30 身を休め給へや御身を休め給へや。

(続き) 『葛城キリ』

31 明けぬ先にとかづらきの夜の。
32 磐戸にぞ入り給ふ磐戸の内にぞ。
33 入り給ふ。

五 『車僧』

34 所からここは浮世の嗟峨なれや。
35 雪のふるみち跡深き。 車の轍は足引の。
36 大雪にはよも行かじ。
37 げに雪山の道なりと。 法の車路平かに。
38 行くかゆかぬか此原の
39 草の小車雨添へて

四 『葛城キリ』

40 高天乃原の磐戸の舞。 高天の原の磐戸の舞。
41 天の香具山も向ひに見えたり。
42 月白く雪白く何れも白妙のけしきなれども。
43 名におふ葛城乃。
44 神の顔がたち面なや面はゆや。
45 恥かしやあさましや。
46 あさまにもなりぬべし。
47 明けぬ先にと葛城の

48 打ても行かず
49 とむればすすむ此車の。 法乃力とて。
50 嗟峨小倉大井嵐の。 山河を飛び翔つて。
51 眩惑すれども騒がばこそ。
52 まことに奇特の車僧かなあら貴や恐ろしやと。
53 魔障を和らげ大天狗は。
54 合掌してこそ失せにけれ。